

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択 がん看護CNS必修
担当教員			
◎石田和子、樺澤三奈子、横川史穂子、石岡幸恵、坂田智佳子、佐藤裕子、西村香、長崎揚子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 後期	【授業時間】 2週間以上	
	【担当教員】 【氏名】 ◎石田 和子 樺澤 三奈子 横川 史穂子 石岡 幸恵 坂田 智佳子 佐藤 裕子 西村 香 長崎 揚子	【所属】 新潟県立看護大学 同上 同上 同上 同上 神奈川県立がんセンター 新潟県立がんセンター新潟病院 同上	【研究室】 317 318 204 310 502 がん看護専門看護師 がん看護専門看護師
【メールアドレス】 kazukoi@niigata-cn.ac.jp minako-k@niigata-cn.ac.jp yokokawa@niigata-cn.ac.jp ishioka@niigata-cn.ac.jp sakata@niigata-cn.ac.jp			
【本学の科目区分】 専門分野			
【D P 1】 ◎   【D P 2】 ○   【D P 3】 ○   【D P 4】 ○   【D P 5】 ◎   【D P 6】			

到達目標	1 複雑で対応が困難ながん患者と家族の様々な問題を解決するための高度看護実践能力とその役割について述べることができる。 2 がん看護専門看護師としての包括的なアセスメント能力・関連職種間の連携・ケアマネジメント・コンサルテーション・教育的機能を果たす能力・援助方法の開発推進等の役割について、論理的判断・諸理論を活用して実習することができる。 3 実習Ⅰを発展させ、がん看護専門看護師によるスーパービジョンを受けながら、臨床のがん看護専門看護師として相談、調整、教育、およびがん医療における地域連携活動に参加し、問題解決に向けた総合的実践を実施することができる。
授業概要	がん看護専門看護師の指導のもとで、実際に行われている臨床での活動（実践・相談・調整・倫理活動・教育・研究）を学ぶ。また、組織集団の特徴を理解し、横断的な活動の進め方を念頭に入れ、病棟や外来など集団に必要なニーズを把握し、カンファレンスや集団を対象に看護職への教育活動を実施・評価する。 がん看護専門看護師が実際に行っているコンサルテーションについて、コンサルティティ能力アセスメントからはじまるコンサルテーション活動について学ぶ。 病棟内、横断的活動、チーム内、地域連携など組織内外での調整を実施し、がん看護専門看護師に必要な能力を養う。
授業計画	2週間以上 授業内容 授業形態：実習 学修課題：がん看護専門看護師としての役割（相談・調整・教育）を実践する。 学修内容：1. コンサルテーション活動ができる。（1例） 2. 調整活動ができる。（1例） 3. 看護職への教育活動ができる。（1例） 4. がん医療における地域連携活動ができる。 5. 専門看護師としての役割開発と課題について考察する。 【実習期間（臨床での実習時間）】 2週間以上（90時間）  【実習場所】 神奈川県立がんセンター 新潟県立がんセンター新潟病院  ・4～5日／週の割合で実習施設に行き、実践する。 ・役割について判断した内容について、実習指導者からスーパーバイズを受ける。 ・実習記録をまとめ、教員に提出し指導を受ける。 備考：
事前・事後学習	適宜、指示する。
評価方法、評価基準	1. 評価対象（得点配分） ・がん看護学実習（高度看護実践）の目標達成度（40%） ・記録、レポート・課題分析能力（20%） ・カンファレンスでのプレゼンテーション（30%） ・実習準備、実習態度（10%） 2. 評価方法 自己評価および実習指導者からの他者評価を総合した各実習評価表に基づき履修生と面接を行

	<p>い、目標達成度、記録およびレポート・課題分析能力、実習準備・実習態度について、評価基準をもとに評価する。</p> <p>3. 評価基準 実習要項に掲載した各評価基準に基づく。評定は、A(90点以上100点まで)・B(80点以上～90点未満)・C(70点以上～80点未満)・D(60点以上70点未満)・F(60点未満)の5段階である。</p>
テキスト	教科書は特に指定しない。
参考図書・資料等	必要に応じて提示する。
受講、課題、資料配布等のルール	長期履修生の場合、実習時期は相談に応じて行う。 実習Ⅱを履修する場合は、実習Ⅰを履修し、単位認定されていることを条件とする。
教員からのメッセージ	授業に関する質問等がある場合、下記メールアドレスにお問い合わせください。
オフィスアワー	石田、樺澤が窓口となり対応する。事前にメールで連絡すること。